



## あこう通信

「今日も楽しかった。明日も楽しみ。」と思える学校を創ろう

～いい顔 いい声 いい心～



発行：令和7年4月14日（月）NO3 文責：副校長 津田 幸一

学校 HP URL <http://www.nagasaki-city.ed.jp/kosakaki-e/index.html>（2次元コードからどうぞ）

### よく遊ぶ 小柳っ子

昼休みは、子供たちにとって、とても楽しい時間です。天気が良いと、ピロティや運動場は大賑わいです。遊具で楽しむ子、ボール遊びをする子、花を愛でている子、ウサギのマロちゃんと戯れる子……。それぞれの過ごし方があるようです。特に、学級が新しくなったこの時期は、これらの遊びを通して新しい友達をつかっていくのでしょうね。

さて、問題です。写真の中に、先生が映っています。子供の輪に入り全力で遊ぶ先生です。誰でしょう？



### 「先生大好き」という子に

学級経営において、「目標の共有」と両輪となるのが、「**学級担任とお子様の信頼関係**」です。

楽しい授業をする、相談しやすい、一緒に遊んでくれる、ユーモアがある、明るく元気……。さまざまな理由で大好きになった先生の言葉は、ストレートに子どもたちの心に響きます。

逆に、信頼できない先生の言葉は、**どんなに理があっても**、届きません。

**子供たちが、生き生きと楽しく学校生活を送るためには、「先生大好き」という気持ちがとても重要なのです。**

このことは、私たちも十分に理解しています。ですから、まず授業力を高めることを第一に考え、日々研鑽をしているところです。そのほかの魅力については、それぞれの個性によります。なかには、「とにかく一緒に遊ぶ時間を大切にすぞ！」と意気込んでいる先生もいます。

私も、「遊びの達人」だった6年生時の恩師 K 先生が大好きでした。K 先生と一緒に遊んでくださった「昭和の遊び」が楽しみで学校に通っていました。6年生時が最も楽しかったです。

教えてもらった、「Sケン、万取り、缶蹴り、三歩当て……」などの遊びは、私も学級担任として、受け持っていた子どもたちに、日々伝承してきました。

以上の理由から、決して、お子様には、担任にマイナスイメージをもたせないようお願いいたします。

指導に関わって、「おや？」ということがありましたら、お子様の前で話すのではなく、ぜひ学校の教職員に、直接お知らせください。誠意をもって改善の対応をいたします。

お子様が楽しい学校生活を送れるよう、直接のご相談いただくことについて、ご理解とご協力をお願いいたします。

**「先生大好き！」という子と一緒に育ててまいりましょう！**

### 「学校は間違ふところだ」

かつて東京大学で教鞭をとられていた糸川英夫（1912～1999）さん。糸川さんは『日本の宇宙開発・ロケット開発の父』と言われるほどの功績をあげられた方です。

学生時代からとても一生懸命に勉強をされ、当時の東京大学で最難関と言われていた「航空学科」に入学しました。その後は、航空工学、宇宙工学の分野で世界を主導する研究をされました。

その糸川さんが、大人になって自分の勉強のやりかたを振り返ったとき、いったい何が良かったのかを考えたそうです。

その答えが、「**間違いを大切にした**」ということです。糸川さんは、「失敗の裏返しは成功である」という考えのもと、間違いをあえてノートに残していたそうです。大きな×を目立つように書き、×だった問題に再度取り組むことを徹底して取り組んだそうです。これが成功の秘訣だったと回想されています。

この糸川さんのエピソードから、やはり「間違い」は重要だと改めて感じました。

① 「間違いに学ぶ」ことの効果を子供自身が知る

② 学級に「安心して間違えられる」雰囲気がある

この2つが大切です。

（令和6年度学校だより3号：再掲）



入学式時の写真

### 交通指導員さんの紹介

本校には3名の交通指導員さんがいらっしゃいます。指導員の委嘱については、市内各校に3名までという上限があります。3名も在籍している校区であることは、とてもありがたいことです。

ぜひ、子供たちには、このことに感謝の気持ちをもってほしいと思っています。

山田 昌伯さん（みなと坂1丁目交差点）

水本 栄さん（みなと坂2丁目交差点）

馬場 昭彦さん（木鉢交差点）